三つ目のご質問の、住民活動のコーディネートを図る人材の育成・支援の必要性についてでありますが、住民活動を行っていく上では、リーダー的な役割を担う人材も当然のことながら必要とされます。こういった人材は、町職員だけではなく、町外からもアドバイザー的な役割を持つ方や、ファシリテーター（司会進行を努めながら、参加者のサポートを行う人）的な役目として、問題提起と方向性を示していただけるような方に、住民活動の構成員として参画していただくことなども、人材育成に必要な手段ではないかと考えています。

いずれにしましても、町民の皆様の自主的・自発的な取り組みを進めていくことが住民活動の活性化に繋がり、地域づくりに繋がるものと考え、町としても必要な支援をしてまいりたいと考えています。

問 行政の支援として、住民組織の情報の提供、活動の広報や普及啓発、活動の評価、組織への教育や学習の機会の提供については、広く全国的にも実施されています。補助金や助成金といった直接的支援とは別の間接的支援についてどのように考えているのか。

また、「市民活動」の慢性的な課題は、人材・資金・活動の拠点確保があります。これらの課題を解決し、継続的に発展させていくには、活動のための基盤整備が必要であり、このためには資金の活用、獲得のスキル、情報発信の有効活用のスキル、マネジメントのスキル、地域の住民・行政・企業間のマッチングのスキル、こうした技術を中間的な立場で、専門的に支援業務を行う推進セクター（部署）の必要性について伺いたい。

答（纐纈参事）住民組織に対する間接的支援については、各住民組織の交流会や情報交換会などを実施し、それぞれの組織の活動発表や、他の組織から活動に対する意見をいただける場所、機会の提供、また、町の広報紙などにそれぞれの住民活動の状況を情報発信し、広く町民の方に活動を知っていただき、理解を得ることなどが考えられると思います。

次に、推進セクターの必要性についてのご質問ですが、住民活動は個々のボランティア活動の延長線上にあると考えれば、このボランティアを支える基盤整備は、必要不可欠なものであり、活動拠点の整備や情報提供の充実、人材育成への支援は重要であると考えますが、まずそれぞれの地域で、地域の現状を見つめ、今何が必要か、何をするべきかを考えていただき、行動に移していただくことが大切ではないかと思います。

また、社会福祉協議会には機能強化を図っていただき、地域の課題を掘り起こし、住民活動への支援とアドバイスをいただけるよう、町としても働きかけてまいりたいと思います。その機能が充実することによって、住民活動の推進セクターとしての役割を担っていただけるものと期待しています。

黒岩千泰議員

Q1 見行山について

購入目的及び進捗状況

問 町が見行山を購入されたが、その目的と今後の計画、現在の進捗状況について伺う。

答（山内産業課長）見行山の購入目的としましては、当該地は篠原簡易水道・本郷水道の水源地と、下流では潮南簡易水道が取水しており、当町にとりましては、飲料水の水源の森として重要な役割を果たしています。この重要な森を公有林化させ、適切な森林管理を計画的に行うことで、地域住民の安全で快適な生活環境を守る目的で購入いたしました。

幸いにも県の環境税を財源とした岐阜県水源林公有林化支援事業を活用しまして、平成26年度、54筆、199,995㎡を購入しました。引き続いて今年度も同事業で40筆、192,488㎡購入する予定です。2年間で購入出来る合計面積は、392,483㎡となります。

今年度購入後は、水源涵養林として役割を果たせるように、ほかの町有林同様に計画的な森林管理を行っていきます。また、登山道の整備なども進め、地域の振興にも役立てたいと考えています。

問 計画的に森林管理をしていくとの回答でしたが、30年前の測量図面等での管理ではなく、適正に管理していくためには、地積図を作成することがよいのではないかと考えます。その為には隣接地のと境界を明確にする必要があると考えるが、考えを聞きたい。

答（山内産業課長）管理作業を行う上には、隣接地のと境界が明確でないと作業を行うことは出来ません。建設課で行っています地籍調査事業につきましては、現在潮南地区において実施されており、今、福地の見行山の地籍調査を行うということは出来ませんので、水源林境界明確化促進事業等、県の補助制度を利用し、来年度以降、隣接地との境界を明確にし、作業を実施していきたいと考えています。

問 森林管理として、間伐を行われると思いますが、間伐の目的方法について伺いたい。

答（山内産業課長）間伐は、大変重要な役割を果たしていると思います。森林整備計画を平成28年度変更予定でありますので、この計画に取り入れ整備していきたいと考えています。また、間伐の役割については、多種の森林等の樹木の育成及び水源籍養が高まるということがありますので、間伐等の整備を進めて行きたいと考えています。

Q2 原子力発電・クリーンエネルギーについて

クリーンエネルギーの推進

問 町としては、原子力発電に対して、賛成か反対か、どの様な立場か伺いたい。

答（青山総務課長）まず、八百津町としまして、この場で原子力発電に対し、賛成か反対かの立場を述べることは差し控えさせていただきます。

平成23年3月11日に発生しました「東日本大震災」から4年以上を経過し、東北地方の復興は未だ途上にあるといえる状況の中で、電力の確保は日本経済の振興に不可欠なものであり、国のエネルギー施策において重要な課題でありますが、そのための環境への配慮や安全性の確保も重要な要素であります。特に原子力発電に関しましては、その安全性が十分担保されることが非常に重要であると考えています。